

(PART 1)

「覚悟の軌跡」～新潟日報でたどる 10 年～

- ・差別偏見を恐れながらも名乗りを上げた患者の「覚悟」
- ・解決まで先頭に立って闘うと決めた原告の「覚悟」
- ・被害者の思いを社会に訴え続ける記者の「覚悟」

(PART2) 多彩なパネリストによる パネルディスカッション

- ・新潟水俣病で生きる道を決めた若者
- ・患者と阿賀野川にカメラを向け続ける写真家
- ・12 年間の裁判を闘う原告団、弁護団の二人の団長
- ・水俣病を追い続ける現役新聞記者

○日時 2025 年 11 月 3 日 (月・文化の日 祝日)
午後 2 時～4 時 (開場 1 時 30 分)

○会場 新潟日報メディアシップ 2 階
日報ホール

新潟市中央区万代 3-1-1 萬代橋ふもと ☎025-385-7500

○申込 事前のお申し込みを下記の方法でお願いします。

①ファックス 025-248-8476

④QR コード

②メール agano_kanjakai@nifty.com

③郵送 〒950-0075 新潟市中央区沼垂東 6-4-12 新潟水俣病阿賀野患者会
先着順で受付し、定員になり次第、申込を締切し、入場いただけない方
だけにはご連絡いたします。お早めにお申し込みください。

○締切 10/20 (月) ○入場無料です。



写真・小原王明撮影

新潟水俣病阿賀野患者会

2007 年 (H19) 6 月 23
日に結成。ノーモア・ミ
ナマタ第 1 次訴訟を闘
い、(H23.3) に和解成
立。第 2 次訴訟を闘い続
け 12 年目を迎える。(原
告数 145 人) 被害者救済
と共に患者の「医療・介
護・福祉」要求実現に力
を注ぐ。(会員 296 人)

阿賀と生きる会

〈阿賀と生きる会〉は、
阿賀野川と水俣病、川の
暮らしや文化を、上映会
や企画展を通して、地元
の方々をはじめ、これか
らを生きる若い学生の皆
さんと語り合い、学び考
える居場所づくりを目指
しています。

新潟水俣病 市民講演会

「覚悟」 の軌跡

水俣病患者の、若者の、フログ写真家の、弁護士の、
地元新聞社・記者の夫々の「覚悟」を受けてトークイン

入場無料
事前のお申込を

主催 新潟水俣病阿賀野患者会 **阿賀と生きる会** **後援** 新潟日報社

酢山省三 090-4923-0050

山田孝太郎 080-9990-0933

「新潟日報」記者が語る新潟水俣病・講演会 申込書

2025 年 月 日

○氏名

○電話番号

○住所 〒